

件名	6号機の復水器連続洗浄装置の点検について
通報日	平成16年2月25日
概要	<p>当所6号機（改良型沸騰水型、定格出力135万6千キロワット）は、定格熱出力で運転中のところ、平成16年2月20日、3台ある復水器<sup>1</sup>のうち1台の連続洗浄装置にあるボール捕集器<sup>2</sup>のスクリーンが閉じたままになり、自動的に開かないことが分かりました。復水器内などから剥離した貝などの海生物が、当該捕集器先端部に付着したものと考えられるため、2月28日午前3時より発電機出力を約40%（約54万キロワット）まで低下させ、この復水器の冷却機能を切り離した上で当該捕集器の点検・清掃作業を行うことといたしました。</p> <p>この洗浄装置による復水器の洗浄ができないことは、プラント運転において安全上支障はありませんが、今後、復水器の冷却能力が低下することが考えられることから、この点検・清掃作業を実施するものです。</p> <p>なお、点検・清掃作業の終了後、定格出力に復帰いたします。</p> <p>1) 復水器 タービンを回した蒸気を海水により冷却し水に戻す機器。</p> <p>2) 復水器連続洗浄装置ボール捕集器 復水器内の細管に付着した海生物を、細管より少し大きめのスポンジボールにより除去しているが、この作業を終えたスポンジボールを回収するための装置。この洗浄方法は、原子力発電所に限らず火力発電所でも活用されている。</p> <p>（平成16年2月26日 公表内容）</p> <p><a href="http://www.tepco.co.jp/kk-np/nuclear/pdf/16022601.pdf">http://www.tepco.co.jp/kk-np/nuclear/pdf/16022601.pdf</a></p>